

# 平成27年度 事業報告書

社会福祉法人 可児市社会福祉協議会

## 目 次

<b>①法人運営事業拠点</b>	
1 法人運営事業	P 1
1 - 1 一般管理業務	P 3
1 - 2 福祉推進	P 5
1 - 3 地域支え愛ポイント制度	P 1 1
2 共同募金事業	P 1 2
<b>②受託事業等拠点</b>	
1 地域包括支援センター	P 1 6
2 障害者生活支援センター	P 1 7
2 - 1 障害者生活支援事業	P 1 7
2 - 2 福祉リフトカー貸出受託	P 1 9
3 老人福祉センター福寿苑運営事業	P 1 9
4 生活サポートセンター	P 2 0
4 - 1 生活困窮者自立支援事業	P 2 0
4 - 2 心配ごと相談事業	P 2 0
4 - 3 生活福祉資金貸付事業	P 2 1
4 - 4 日常生活自立支援事業	P 2 1
4 - 5 法人後見事業	P 2 1
<b>③介護サービス事業拠点</b>	
1 居宅介護支援事業	P 2 2
2 福寿苑デイサービス事業	P 2 2
3 訪問介護事業	P 2 3
4 計画相談支援事業	P 2 5
<b>④障がいサービス事業拠点</b>	
1 ふれあいの里可児就労継続 B	P 2 6
2 ふれあいの里可児生活介護	P 2 7
<b>その他事業</b>	
1 岐阜県共同募金会可児市支会の運営	P 2 9
2 日本赤十字社岐阜県支部可児市地区の運営	P 2 9

## ▶ 法人運営事業拠点

### 1 法人運営事業

平成 27 年度決算の総括表（資金収支計算書）（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）（単位：円）

拠点区分		当年度収入額 A	当年度支出額 B	当年度資金 収支差額 C (A - B)
①法人運営事業拠点	○法人運営事業 ・一般管理業務・福祉推進・地域支え愛ポイント制度 ・福祉基金等 ○共同募金事業	149,055,555	143,220,612	5,834,943
②受託事業等拠点	○地域包括支援センター ○障がい者生活支援センター ・障がい者生活支援センター・福祉リフトカー貸出事業 ○老人福祉センター福寿苑運営事業 ○生活サポートセンター ・生活困窮者自立支援事業・心配ごと相談事業 ・生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業 ・法人後見事業	87,379,598	80,887,316	6,492,282
③介護サービス事業拠点	○居宅介護支援事業 ○福寿苑デイサービス事業 ○訪問介護事業 ○計画相談支援事業	104,651,987	111,235,976	△6,583,989
④障がいサービス事業拠点	○ふれあいの里可児就労継続 B ○ふれあいの里可児生活介護	81,809,281	77,276,964	4,532,317
内部取引消去		△5,554,939	△5,554,939	0
合 計		417,341,482	407,065,929	10,275,553

※平成 27 年度から新会計へ移行による事業・勘定科目組み換えのため、平成 26 年度資金残高等は掲載していません。

## 貸借対照表

(平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
預金	321,513,585	事業未払金	25,830,369
事業未収金	32,406,373	未払費用	19,646,622
預け金	732,756	職員預り金	627,289
前払金	50,000	退職給付引当金	65,363,995
基本財産特定預金	10,000,000		
機械及び装置	458,950	負債の部合計	111,468,275
車両運搬具	19,408,360		
器具及び備品	7,380,985		
減価償却累計額 (△)	△26,642,992	純資産の部	
投資有価証券	10,000	基本金	10,000,000
退職給付引当資産	31,590,340	福祉基金積立金	205,876,548
福祉基金積立預金	205,876,548	次期繰越活動収支差額	275,440,082
		純資産の部合計	491,316,630
資産の部合計	602,784,905	負債及び純資産の部合計	602,784,905

※平成 27 年度から新会計へ移行による事業・勘定科目組み換えのため、平成 26 年度額等は掲載していません。

## 1-1 一般管理業務

### 会費・寄付金（財源：会費）

#### （1）会費

可児市社会福祉協議会（以下「市社協」といいます。）では、だれもが安心して暮らせるまちづくりをすすめるために、地域の方々の積極的な福祉活動への参加をお願いしています。

また、福祉活動を支える財源として、市社協の活動に賛同していただいた世帯や事業所などに会費の納入をお願いしています。賛同していただいた世帯を一般会員、法人・団体を特別会員と称しています。

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	会員数	実績額	会員数	実績額	会員数	実績額
一般会員 (500 円)	22,293 世帯	11,146,550 円	22,477 世帯	11,238,500 円	22,332 世帯	11,166,600 円
法人会員 (10,000 円)	117 法人	1,259,000 円	111 法人	1,150,000 円	104 法人	1,080,000 円
合 計		12,405,550 円		12,388,500 円		12,246,600 円

#### （2）寄付金

個人、自治会、諸団体、企業等から篤志として、次のとおり寄付金をいただきました。

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
一般寄付金	70,236,246 円	2,097,944 円	1,623,782 円
指定寄付金	344,000 円	1,000,000 円	300,000 円
合 計	70,580,246 円	3,097,944 円	1,923,782 円

### 全国社会福祉協議会会長表彰

平成 27 年 11 月 20 日に開催された「平成 27 年度全国社会福祉大会」において、可児市社会福祉協議会が「社会福祉協議会優良活動表彰」を受章しました。

## 理事会・評議員会（財源：会費）

効果的な事業運営や組織活動を展開するために、法令、定款等の定めにより、次のとおり理事会と評議員会を開催して、事業内容等を審議・決定いたしました。

### （1）理事会

第1回開催日：平成27年5月28日

議案：第1号 平成26年度事業報告について

第2号 平成26年度収支決算報告について

第3号 評議員の選任について

第2回開催日：平成27年7月28日

議案：第4号 被表彰者の選考について

第3回開催日：平成28年3月25日

議案：第5号 平成27年度補正予算について

第6号 定款の一部改正について

第7号 評議員の選任について

第8号 平成28年度事業計画について

第9号 平成28年度予算について

第10号 契約の執行について

第11号 指定管理基本協定の締結について

### （2）評議員会

第1回開催日：平成27年5月29日

議案：第1号 平成26年度事業報告について

第2号 平成26年度収支決算報告について

第3号 理事の選任について

第2回開催日：平成28年3月29日

議案：第4号 平成27年度補正予算について

第5号 定款の一部改正について

第6号 理事の選任について

第7号 監事の選任について

第8号 平成28年度事業計画について

第9号 平成28年度予算について

## 1-2 福祉推進

### かに社協だより「こころん」の発行（財源：会費）

市社協や関連団体の活動を広く市民に P R し、理解を深めていただくために発行しました。

発行回数：年 6 回（奇数月の 15 日に発行）

### 「こころん」の着ぐるみによる啓発活動（財源：会費）

社協活動を市民に広く P R し親しんでいただくことを目的として、市社協のマスコットキャラクター「こころん」の着ぐるみによる啓発活動を、社協関連のイベント等で行ないました。

### 可児市社会福祉大会・社協セミナー（財源：会費）

地域福祉の推進等に貢献された個人や団体を表彰し、感謝の意を表すために、可児市社会福祉大会を開催しました。

大会後に開催した社協セミナーでは、声優の増岡弘氏を講師として招き、「マスオさんが語る日本の家族」と題して講演をいただきました。

開催日：平成 27 年 9 月 12 日

聴講者：約 400 人

#### 表彰等の件数

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
市社協会長表彰・感謝	65 件	70 件	85 件
岐阜県共同募金会可児市支会長表彰・感謝	114 件	113 件	117 件
日本赤十字社岐阜県支部可児市地区表彰	17 件	24 件	9 件
合 計（個人・団体含む）	196 件	207 件	211 件

## 健康フェア可児への出展（財源：会費）

健康フェア可児においてブースを開設し、社会福祉活動のPRを行いました。

開催日：平成27年10月18日

内容：脳トレプリントによる認知症予防体験、こころんカフェを出店  
「こころん」着ぐるみとのふれあい、共同募金の啓発

## ボランティア活動の支援（財源：会費）

### （1）ボランティア団体の支援

ボランティア同士の情報交換や連携の強化を図るとともに、ボランティアのスキルアップを支援しました。

ボランティア活動を支援するため、福祉センター内の掲示板やホームページ内のコーナーで、ボランティア活動に関する情報を提供しました。

### （2）ボランティア連絡協議会の支援

市内のボランティア団体が交流のうえ、情報交換を行いながら課題を共有し、その解決を図るとともに、会員の資質向上と地域福祉の推進を目的とするボランティア連絡協議会の活動を支援しました。

### ボランティア登録数

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度
新規登録	個人	11人	34人	20人
	団体（人数）	10団体（250人）	12団体（281人）	5団体（53人）
年度未登録数	個人	547人	536人	502人
	団体（人数）	108団体 （2,755人）	104団体 （2,726人）	96団体 （2,542人）

### ボランティアコーディネート件数

区 分		平成27年度	平成26年度	平成25年度
依頼元	個人	7件	24件	1件
	団体	32件	24件	31件
コーディネート件数		39件	48件	34件



## 福祉教育の推進（財源：会費）

### （１）福祉に関する学習への支援

市内小・中学校等からの依頼に応じ、「車イス」「ガイドヘルプ」「高齢者疑似体験」等福祉体験の実施や講師の紹介、福祉体験用具の貸出しなどを行うことにより、福祉に関する理解の普及を図るとともに、福祉教育の推進に取り組みました。

#### 実施件数

項 目	平成 27 年度	平成 26 年度
福祉講座	25 件	23 件
福祉体験用具貸出し	17 件	12 件

### （２）福祉ドキドキ・わくわく体験

さまざまな立場の人との出会いをととして、福祉に対する理解を深めることを目的として夏休み期間中に小学生を対象に福祉講座を開催しました。

参加者数：小学 5・6 年生 56 人 ※人数は延べ人数

#### 開催内容

開催日	内 容
7 月 22 日	見えないってどんなこと？①（視覚障がいの話、音訳・点字体験）
7 月 23 日	車いす体験（車いす乗車体験、車いすテニス体験）
7 月 27 日	聞こえないってどんなこと？（聴覚障がいの話、手話サークルとの交流）
8 月 4 日	見えないってどんなこと？②（視覚障がいの話、アイマスク・サウンドテーブルテニス体験）
8 月 11 日	介助犬ってどんな犬？（介助犬についての話、デモンストレーション）

## 地区社協活動の支援

### （１）地区社協活動の支援（財源：会費）

地域福祉活動を効果的に推進するため、フォーラムへの参加や地区社協の現状や運営について代表者による情報交換を行いました。

○県社協主催「福祉のまちづくりフォーラム 2015」への参加

開催日：平成 27 年 8 月 3 日

場 所：長良川国際会議場

参加者数：18 名

目 的：先進的な事例を聞き、今後の地区社協活動の参考とする。

○地区社協代表者会議

開催日：平成27年7月2日

場所：可児市福祉センター

内容：各地区社協の事業計画の発表と情報交換、可児市地域支え合い活動助成（高齢福祉課）、生活支援活動の担い手養成講座（福祉課）について説明。

(2) 地区社協への助成（財源：社協会費、共同募金配分金、日赤配分金）

各地区社協に活動のための助成金を交付しました。

(積算内訳)

社協より：均等割額 80,000円 一般会費実績額の20% 特別会費実績額の30%  
 共同募金より：均等割額 100,000円 赤い羽根募金実績額の10%  
 日赤より：社費実績額の7%

平成27年度助成実績額

(単位：円)

地区社協名	社協福祉推進事業			共同募金事業			社協計 ①	日赤社費 配分金額 ②	合計 ①+②
	均等割	一般会費	特別会費	均等割	実績割	臨時交付金			
今渡	80,000	132,000	21,000	100,000	83,000	56,000	472,000	46,000	518,000
川合	80,000	87,000	18,000	100,000	52,000	34,000	371,000	30,000	401,000
下恵土	80,000	186,000	42,000	100,000	110,000	60,000	578,000	64,000	642,000
土田	80,000	147,000	60,000	100,000	88,000	52,000	527,000	51,000	578,000
帷子	80,000	575,000	6,000	100,000	393,000	123,000	1,277,000	202,000	1,479,000
春里	80,000	145,000	15,000	100,000	97,000	36,000	473,000	51,000	524,000
姫治	80,000	94,000	34,000	100,000	57,000	22,000	387,000	33,000	420,000
平牧	80,000	281,000	15,000	100,000	165,000	59,000	700,000	89,000	789,000
桜ヶ丘	80,000	211,000	3,000	100,000	114,000	52,000	560,000	74,000	634,000
久々利	80,000	47,000	6,000	100,000	28,000	12,753	273,753	16,000	289,753
広見東	80,000	57,000	12,000	100,000	34,000	16,753	299,753	19,000	318,753
広見	80,000	175,000	79,000	100,000	106,000	44,000	584,000	61,000	645,000
中恵土	80,000	62,000	21,000	100,000	42,000	20,000	325,000	21,000	346,000
兼山	80,000	42,000	3,000	100,000	27,000	10,753	262,753	15,000	277,753
計	1,120,000	2,241,000	335,000	1,400,000	1,396,000	598,259	7,090,259	772,000	7,862,259

各地区社協では、次のような事業が行われました。

地区社協	平成27年度中に実施された主な事業
今 渡	多世代サロン、ふれあいコンサート、ご長寿を祝う会、福祉のまちづくり講演会（三地区合同）、子育てサロン「いまっ子」
川 合	高齢者のつどい、友愛訪問、夏休み！こども福祉講座、福祉のまちづくり講演会（三地区合同）、簡単非常食作り講習会、川合サロン、認知症サポーター養成講座
下恵土	子育てサロン「どんぐり」、下恵土サロン「ひなた」、福祉のまちづくり講演会（三地区合同）、障がい者との交流会、地域福祉サービスメニュー事業、親子ふれあい映画会
土 田	身障者との交流会、独居・高齢者夫婦給食サービス、認知症サポーター養成講座、子育て支援事業（ハロウィンパーティー）、DOTA×2 ジャズクラブ
帷 子	高齢者送迎サービス事業、高齢者安全運転講習会、認知症サポーターフォローアップ講座、地域福祉サービスメニュー事業
春 里	高齢者給食サービス事業、春里健幸教室N O S S体操、各種団体への活動助成
姫 治	長寿のつどい、ウォーキング大会
平 牧	サロンの普及・支援、長寿のつどい、独居・85歳以上生活用品配布事業、身障者との交流会、出張福祉相談会、「はじめてみよう！ボランティア」講座
桜ヶ丘ハイツ	地域福祉懇談会、家事支援サービス「この指と〜まれ」、喜寿のつどい、夜間お助け隊、広報紙発行、「みんなの家」、ハイツカフェ、移動支援、買い物配達支援サービス、夏休み寺子屋、地域福祉活動団体へ補助金の交付、バザー & 蚤の市開催、独り暮らし高齢者の見守り活動
久々利	松茸ごはんによる友愛訪問、クリスマス会、長寿のつどい
広見東	長寿の祝い事業、ネームプレート配布、身障者との交流会、キッズサマーサイエンスショー、まるっとお月見会、生活支援や災害等の支援に関するアンケート調査実施
広 見	ほっとサロンゆい、サロンde講座「パソコンで遊ぼう」・「お手軽クッキング」、男の料理教室、買い物等同行支援サービス、ひとり暮らしの方の配食・食事会、友愛訪問事業、新春ひろみ寄席
中恵土	ふれあい農園事業、長寿のお祝い記念品配布、中恵土サロンde“なかえーど”（多世代サロン）夏まつり
兼 山	高齢者昼食サービス、地区サロンへの支援・交流会、兼山八景まちづくり参加

## 緊急法外援護（財源：会費）

緊急に援護する必要のある行旅病人等に対し、市を通じて一時的な援護を行いました。

### 援護状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
給付件数	延べ 44 人	延べ 45 人	延べ 66 人
給付金額	84,080 円	69,555 円	49,540 円

## 福祉用具による生活支援（財源：会費）

### （１）福祉用具の貸出

在宅で障がいのある人に対し日常生活の便宜を図るため、福祉用具を無償で貸与しました。

貸出し用具：車イス、ポータブルトイレ、シャワーイス、歩行杖、歩行器等

### （２）ＹＹネット（福祉用具のリサイクル）

福祉用具を譲ってほしい人と譲りたい人の情報を仲介し、福祉用具の有効活用を図りました。

### 利用実績

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
福祉用具の貸出	379 件	383 件	403 件
ＹＹネット	109 件	49 件	48 件

## 県社協「福祉コミュニティ推進支援事業」（財源：県社協補助金 204,000 円）

事業開始にあたり、岐阜県社会福祉協議会の補助事業に採択され、スタートしました。

事業名：今渡地区社会福祉協議会『子育てサロン「いまっこ」の新規開設』

事業内容：地域から孤立した子育て・孤独な子育てをなくすため、乳幼児の親子が集い、子どもが遊べて、親同士が交流でき、仲間づくりのできる「つどいの場」を提供することを目的に子育てサロンを開設。

【開催日】毎月第1水曜日（初回：10月7日）

【時間】午前10時～11時30分

【場所】今渡公民館（2階ホール）

【対象者】未就園児とその保護者

【利用料】無料

### 1-3 地域支え愛ポイント制度（Kマネー）（財源：市受託金 1,991,520 円）

市民が、ボランティア活動を通して地域貢献と子育ての安心づくりや高齢者の安気づくりを目指す事を目的として、可見市が平成26年度から開始した地域支え愛ポイント（Kマネー）制度のうち、ボランティア付与団体及びボランティア活動者の登録、ポイントからKマネーへの交換業務を担いました。

それにより、制度の普及啓発と併せ、ボランティア活動の拡充をはかりました。

#### 登録者数

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度
ポイント付与団体	101 団体	40 団体
ボランティア登録（個人）	1,026 人	435 人

Kマネーへの交換実績（平成26年度分）

ポイント交換者数 : 371 人

ポイント交換したKマネー金額 : 1,353 千円

交換期間 : 平成27年4月から5月末

## 2 共同募金事業（財源：共同募金配分金 11,428,694 円）

---

### 災害ボランティア

#### （1）可児市災害ボランティアサポートへの支援

災害ボランティアセンターの運営を支援するボランティア団体を平成 26 年度に設立し、勉強会や実践による経験を蓄積し、災害に備えています。

団体名：可児市災害ボランティアサポート

会員数：39 名

活動内容：役員会（毎月第 2 木曜日）・定例会（毎月第 4 木曜日）

4 月 23 日 年次総会

10 月 22 日 南木曾町社協職員による災害ボランティアセンター開設運営の事例発表  
聴講（受講者 20 人）

#### （2）「可児市災害ボランティアコーディネーター養成講座」の開催

地震や豪雨などの自然災害発生時に、災害ボランティアが円滑に復旧活動を進められる体制を構築することを目的に「可児市災害ボランティアコーディネーター養成講座」を開催しました。

目的：災害ボランティアセンター運営のための人材を育成する

開催日：平成 28 年 2 月 14 日（日）可児市福祉センター

「災害時における行政の対応について」

（講師：可児市総務部防災安全課）

「災害ボランティアセンターの役割について」

「災害ボランティアコーディネートのあり方とケーススタディ」

（講師：大阪ボランティア協会 事務局次長 永井美佳 氏）

平成 28 年 2 月 20 日（土）可児市文化創造センター（アール）

「災害ボランティアセンター立上げ訓練」

参加者数：延べ 46 人（可児市災害ボランティアサポート会員他）

### 福祉協力校・園の指定

人とかかわり合う体験を通して社会福祉への理解と関心を深め、社会奉仕や社会連帯の精神を育む教育の実践を目的として、福祉協力校・園を指定しています。

福祉協力校・園の福祉に関する学習に対し、継続して助成を行うとともに、企画支援を行いました。

指定校・園数：保育園・幼稚園 16 園 小学校 12 校 中学校 6 校 高等学校 3 校

## 住民福祉活動の支援

### (1) ふれあい・いきいきサロンへ普及支援

新たに発足する住民主体の在宅福祉サービス（サロン）実施団体に、ノウハウの提供・助成を行うとともに、発足後の助成等の支援を行いました。

また、サロン活動を行うスタッフを対象に、研修会を開催しました。

ふれあい・いきいきサロン 登録件数：82 件

ふれあい・いきいきサロン普及助成 助成件数：55 件 助成額：929,045 円

#### 平成 27 年度中に新たに登録されたサロン

若葉台脳トレサロン（帷子）	わかば和みの会（帷子）
中恵土サロン de “なかえ〜ど”（中恵土）	松伏脳トレサロン（平牧）
子育てサロン「いまっこ」（今渡）	

#### 実施したサロン研修会（財源：会費）

開催日	内 容	参加人数
7月10日	元気ハツラツ！『健康体操講座』①	72 人
10月9日	元気ハツラツ！『健康体操講座』②	62 人
11月20日	クリスマスグッズ作り	65 人
2月2日	おいしいコーヒー教室	29 人

### (1) - 2 子育てサロンへの普及支援

子育て中の親同士が気軽に集い、仲間づくりと情報交換の場を提供することを目的としたサロンに支援を行いました。

サロン登録件数のうち子育てサロン：10 件

### (2) サロン出張市場

買い物弱者対策とふれあい・いきいきサロンの活性化を目的として、業者と連携し実施しました。

協力業者：1 業者（食材・日用品、菓子、パン）

実施サロン：兼山地内 2 サロン

(3) 地域で行なう支え合い活動への助成

赤い羽根まちづくり活動助成事業として、自治会やボランティア団体が主となって行う地域福祉推進活動に対し助成を行ないました。

赤い羽根まちづくり活動助成 助成件数：39件 助成額：701,223円

(4) 福祉団体への活動助成

助成件数：6件 助成額：1,330,000円

(助成先)	可児市民生児童委員連絡協議会	600,000円
	可児市ボランティア連絡協議会	450,000円
	身体障害者福祉協会可児市支部	70,000円
	可児市健友連合会	70,000円
	可児市保育協会	70,000円
	可児市母子寡婦福祉連合会	70,000円

## 歳末たすけあい事業

### 友愛訪問活動の実施

民生児童委員の協力を得て、下記の世帯へ「友愛訪問」を行い、準要保護世帯には歳末見舞金（地域通貨Kマネー）、75歳以上のひとり暮らし世帯には歳末見舞品を配付しました。

#### 対象件数等

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
準要保護世帯	333件	1,665,000円	308件	1,540,000円	289件	1,445,000円
75歳以上のひとり暮らし世帯	892件	535,200円	866件	519,600円	834件	513,000円
案内状等		3,600円		3,927円		3,247円
合 計	1,225件	2,203,800円	1,174件	2,063,527円	1,123件	1,961,247円



## 生活物品等緊急給付事業

### (1) 緊急食料等給付

緊急に食糧の援護を必要とする人に、3日分程度の食料（米、レトルト食品、缶詰等）を給付しました。

#### 給付状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
給付件数	58 件	29 件	29 件
給付金額	23,424 円	40,019 円	24,464 円

### (2) セカンドハーベストとの提携による食糧支援

平成 27 年度からの、岐阜県社会福祉協議会と特定非営利活動法人セカンドハーベストとの業務提携をもとに食料支援をしました。

区 分	平成 27 年度
利用件数（延べ）	34 件

（1回あたり2～3週間分の食料）

※（特）セカンドハーベストは、食材メーカーや生協と連携し、企業から廃棄されそうになる食品を生かし、生活困窮者支援に取り組んでいる団体です。（配送料は社協負担）

## ▶受託事業拠点

### 1 地域包括支援センター（財源：市受託金 20,180,304 円）

#### 可児市北部地域包括支援センター

地域住民（主として高齢者）の心身の健康維持や生活の安定、保健・医療の向上、財産の管理、虐待の防止など、さまざまな課題に対して総合的なマネジメントを担い、解決に向けた取り組みを行いました。

#### （1）対象地域

今渡、川合、下恵土

#### （2）対応件数

（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合相談	39	42	53	41	43	41	54	42	43	54	65	67	584
ケアマネジャー支援	2	5	13	16	6	9	15	21	8	6	34	12	147
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防プラン	102	99	95	98	97	99	98	98	97	101	105	103	1,192

#### （3）連携事業等の実施

市内5地域の包括支援センター間の連携・協力を行うため、各種事業を実施しました。

- ・ケアネット可児への参画 開催回数：11回
- ・高齢者、ケアマネ対象通信の発行 発行回数：10回
- ・認知症、介護予防等に関する教室の開催 開催回数：6回
- ・認知症サポーター養成講座 開催回数：6回
- ・権利擁護啓発講演会 開催回数：1回
- ・法テラス勉強会 開催回数：3回
- ・多職種連携研修会 開催回数：4回
- ・地域ケア会議 開催回数：1回
- ・さつきカフェ 開催回数：5回

## 2 障がい者生活支援センター「ハーモニー」(財源：市受託金 17,192,917 円)

### 2-1 障がい者生活支援事業

障がい者の自立と社会参加促進のため、相談支援、生活支援などや、意思疎通支援を行いました。

#### 来所者数

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
延べ来所者数	7,481 人	9,383 人	8,444 人

### 障がい(身体・知的・精神等)に関する相談支援

#### 相談件数

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
職員との相談	4,365 件	4,847 件	3,162 件
ピアカウンセリング	719 件	1,283 件	694 件
合 計	5,084 件	6,130 件	3,856 件

※ピアカウンセリング：障がい者や障がい者の家族が相談員として、相談に応じます。

#### 相談内容の内訳

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
福祉サービスの利用等	1,469 件	1,661 件	875 件
障がいや病状	658 件	721 件	557 件
健康・医療	402 件	366 件	436 件
傾聴(不安解消・情緒不安)	2,765 件	3,364 件	2,132 件
保育・教育	44 件	42 件	83 件
人間関係・家族関係	475 件	767 件	791 件
家計・経済	90 件	112 件	130 件
生活技術	141 件	244 件	349 件
就労	332 件	541 件	498 件
社会参加・余暇活動	486 件	987 件	988 件
権利擁護	9 件	13 件	30 件
連絡調整	450 件	446 件	345 件
その他	78 件	39 件	42 件
合 計	7,399 件	9,303 件	7,256 件

## 障がい支援区分の認定調査

障がい支援区分の認定のため、サービスの利用申請者への面談調査、認定関係書類の作成をしました。

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
調査件数	35 件	5 件	35 件

## 意思疎通支援

聴覚障がい者に対し、手話通訳者や要約筆記通訳者を派遣しました。

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
手話通訳者の派遣	93 件	78 件	74 件
要約筆記通訳者の派遣	27 件	21 件	9 件

## 教室の開催

障がい者の社会参加を促進するため、スポーツ・レクリエーション教室、芸術・文化講座等を開催しました。

教 室 名	延べ参加人数	開 催 日	回 数
手ことば教室	78 人	毎月第 4 火曜日	10 回
組み紐教室	132 人	毎月第 2・4 水曜日	17 回
パソコン教室	1,226 人	毎週水曜日	41 回
音楽療法	131 人	毎月第 2 木曜日	11 回
ふれ愛教室 (散歩・喫茶等による社会体験)	92 人	毎月第 4 木曜日	11 回
スポーツ教室	96 人	毎月第 1 金曜日	9 回
サウンドテーブルテニス	112 人	毎月第 3 金曜日	10 回
視覚障がい者パソコン教室	62 人	8・9・10 月開催	4 回

## 助成券の交付

血液透析患者や重度障がい者（児）が、社会参加する際のタクシー料金や自家用車の燃料費の一部を補助するために可児市が発行する、社会参加助成券の交付窓口として協力しました。

### 交付状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
重度障がい者（児）社会参加助成券	471 件	458 件	399 件
血液透析通院患者交通助成券	31 件	33 件	29 件

## 2-2 福祉リフトカー貸出（財源：市受託金 1,436,040 円）

車イスのまま自動車での移動を希望される人に、無償で貸出ししました。

### 利用実績

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
福祉リフトカー貸出	334 件	345 件	390 件

## 3 老人福祉センター福寿苑運営事業（財源：指定管理料収入等 29,600,000 円）

### 可児市老人福祉センター福寿苑の運営

市の指定管理者として、利用者に満足していただけるように施設の管理運営に努めました。

その他、関係機関・団体と協力して「いきいき塾」「はつらつ運動教室」「おいしく歯歯歯教室」「東明小学校の児童との交流会（総合学習）」を開催しました。

### 利用状況

利用区分	団体数	利用人数	男性	女性
団 体	32 団体	11,225 人	3,185 人	8,040 人
個 人	—	20,690 人	11,215 人	9,475 人
その他（視察等）		56 人	25 人	31 人
合 計		31,971 人	14,425 人	17,546 人

開館日数 240 日、1 日平均利用者数 133 人

### 教室の開催状況

開催教室	回 数	延べ人数	開催日
生花教室	12 回	112 人	毎月第 4 月曜日
洋裁洋室（福）	24 回	183 人	毎月第 1・3 木曜日
洋裁洋室（寿）	23 回	140 人	毎月第 2・4 木曜日
パッチワーク教室	12 回	123 人	毎月第 1 金曜日

## 4 生活サポートセンター

### 4-1 生活困窮者自立支援事業（財源：市受託金 15,499,080 円）

平成 27 年度より生活困窮者自立支援制度が施行され、市からの受託により事業を実施しました。

利用者の自立に向けたプランニングを行う自立相談支援事業、就職活動中に、住宅の家賃を全部または、一部を補助する住宅確保給付金事業を行いました。

また、任意事業として家計の遣り繰りができなかつたり、多重債務に陥つたりしている世帯を対象に、家計再生を行う家計相談支援事業を行いました。

区 分	平成 27 年度
新規相談受付件数	133 件
プラン作成件数	28 件
自立相談支援相談件数	(延べ) 670 件
住宅確保給付金相談件数	(延べ) 248 件
家計相談支援相談件数	(延べ) 118 件

H29～支援調整会議について明記すること。

### 4-2 心配ごと相談事業（財源：市受託金 641,689 円）

相続や家族の問題など、日常生活上の様々な心配ごとの相談に応じました。

日 時： 毎週火曜日午後 1 時～ 4 時

実施日数： 51 日

相 談 員： 民生児童委員及び司法書士

#### 相談件数

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
相談件数	61 件	92 件	119 件

#### 4-3 生活福祉資金貸付事業（財源：県社協受託金・補助金 1,349,000 円）

離職者等に対し、生活意欲の促進を図り安定した生活が営めるよう、岐阜県社会福祉協議会が実施する貸付け事業に関し、市社協は貸付相談、貸付け手続き、償還指導等を行いました。

##### 貸付状況等

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
貸付件数（内 新規）	181 件（19 件）	181 件（33 件）	153 件（27 件）
資金の相談件数	415 件	301 件	284 件

#### 4-4 日常生活自立支援事業（財源：県社協受託金等 1,326,000 円）

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な人に対し、6 人の支援員の協力により、預金の払い戻し、代金の支払いなどの金銭管理と福祉サービス利用の援助をしました。

##### 支援状況

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
利用者数	22 人	16 人	14 人
相談件数	749 件	393 件	—

#### 4-5 法人後見事業（財源：市補助金 120,000 円）

判断能力が不十分な人に対し、市社協が本人に代わって法律行為などを行う成年後見人等を裁判所から受任することにより、日常生活の支援を行います。また、成年後見制度に関する相談にも応じました。

平成 28 年 3 月 10 日：法人後見運営委員会を開催

区 分	平成 27 年度
受任件数	0 件
相談件数	14 件

## ➤ 介護サービス事業拠点

### 1 居宅介護支援事業（介護保険収入等 19,733,720 円）

#### ケアマネージャー

要介護の認定を受けた人の居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。他の事業所の居宅介護支援専門員（ケアマネージャー）と意見交換を行い、資質及び意識向上に努めました。

#### 利用者数

介護度別	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
要介護 1	464 人	468 人	395 人
要介護 2	476 人	508 人	449 人
要介護 3	192 人	200 人	184 人
要介護 4	129 人	116 人	128 人
要介護 5	77 人	90 人	106 人
合 計	1,338 人	1,382 人	1,262 人

### 2 福寿苑デイサービス事業（財源：介護保険収入等 51,374,760 円）

#### 福寿苑デイサービスセンター

要支援又は要介護の認定を受けた人に、通所介護サービスを提供しました。安全、安心の介護に努め、利用者に満足していただける施設運営に努めました。

#### 利用者数

利用者数	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
要支援 1	35 人	5.1%	30 人	4.1%	30 人	4.2%
要支援 2	102 人	14.8%	119 人	16.3%	136 人	18.9%
要介護 1	226 人	32.8%	185 人	25.4%	190 人	26.4%
要介護 2	172 人	24.9%	223 人	30.6%	184 人	25.5%
要介護 3	77 人	11.1%	40 人	5.6%	47 人	6.5%
要介護 4	63 人	9.1%	83 人	11.4%	105 人	14.6%
要介護 5	15 人	2.2%	48 人	6.6%	28 人	3.9%
合 計	690 人	100%	728 人	100%	720 人	100%
延べ利用者数	6,154 人		6,671 人		6,921 人	
1 日平均	16.8 人		18.59 人		19.36 人	



常に質の高いサービスを提供するために、職員研修を行い資質向上に努めました。

#### 研修の実施状況

実施月	研 修 内 容
4月	倫理規定と基本的な心構え、プライバシー保護・法令遵守
5月	食事介助食と食事の理解について
6月	感染症及び食中毒の予防について
7月	職務の理解
8月	高齢者虐待防止について
9月	業務改善に向けて
10月	認知症を学ぶ
11月	事故発生等の緊急時の対応に関する研修
12月	困難ケース検討
1月	来年度の業務の見直し・検討
2月	来年度の業務のマニュアル作成
3月	今年度の自己評価、次年度の目標

### 3 訪問介護事業（財源：介護保険収入等 25,405,176 円）

#### 高齢者のホームヘルプ

要支援又は要介護の認定を受けた人が、住み慣れた居宅で可能な限り自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護サービス・介護予防訪問介護サービスを提供しました。

#### 利用状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
延べ利用者数	579 人	618 人	745 人
派遣時間数	4,348 時間	5,616 時間	7,195 時間

## 障がい者のホームヘルプ（総合支援居宅介護事業等）

### （１）指定居宅介護・指定同行援護事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護サービス、同行援護サービスを提供しました。

障がい者（児）（身体・知的・精神の３障がい）が、一般能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようサービスを提供しました。

#### 利用状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
利用者数	228 人	234 人	262 人
派遣時間数	3,113 時間	3,548 時間	3,763 時間

### （２）地域生活支援事業（移動支援サービス）

市町村を実施主体とする地域生活支援サービスを提供しました。

障がい者（児）（身体・知的・精神の３障がい）が、社会生活上必要な外出及び余暇活動等の社会参加に関する外出に対し、その移動を個別に支援しました。

#### 利用状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
利用者数	26 人	36 人	40 人
派遣時間数	58 時間	122 時間	224 時間

## 職員研修の実施

常に質の高いサービスを提供するために、毎月職員研修を行い資質向上に努めました。

#### 研修の実施状況

月	研 修 内 容	月	研 修 内 容
4	職業倫理、法令遵守、守秘義務	10	介護技術
5	ケース検討会・脱水症について	11	事故防止・緊急時の対応
6	接遇マナー（アサヒサンクレーンセミナー）	12	ケース検討会
7	ケース検討会・感染症について	1	虐待について
8	かみやすい・飲み込みやすい食事	2	ケース検討
9	認知症高齢者への対応	3	1年の反省、次年度の目標

## 4 計画相談支援事業（財源：自立支援費等収入 8,138,331 円）

---

### 計画相談支援

特定相談支援事業所、障がい児相談支援事業所としての指定を受け、障がいのある大人や障がい児に対し、障がい福祉サービス利用計画や児童福祉サービス利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行うなどの支援を行いました。

#### 支援状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
特定相談サービス利用計画	157 件	145 件	99 件
特定相談モニタリング	310 件	247 件	111 件
障がい児相談サービス利用計画	48 件	37 件	－
障がい児相談モニタリング	38 件	20 件	－
合 計	553 件	449 件	210 件

## ▶ 障がい者サービス事業拠点

### 1 ふれあいの里可児就労継続 B

(財源：障害福祉サービス費等 33,282,565 円、就労支援事業収入 9,856,411 円)

利用者の障がいに応じた作業を提供し、日常生活や生産活動の訓練を行いました。

#### 利用状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
利用者数	26 人	25 人	25 人
延べ利用者数	5,803 人	5,751 人	6,060 人

#### 作業活動

利用者の適正及び能力を考慮した班分けにより、就労の場を提供しました。就労支援事業収入は、材料費を除く全額を利用者に工賃として支給しました。(月額平均約 20,000 円)

就労 B 1 班：施設外作業を担当。リサイクル事業所（ひまわりクリーンセンター）で資源の分別作業を行いました。

就労 B 2 班：製菓、クッキーの製造を担当。市観光協会と連携し、武将クッキーの製造販売もを行いました。

就労 B 3 班：自動車部品の組立などの受注作業を行いました。

就労 B 4 班：主に菓子箱などの箱折などの受注作業を行いました。

※ 3 班、4 班は、施設外作業を実施

- ・エコドーム運営（毎月第 1・2 火曜日）
- ・洗車（市社協の公用車 福寿苑デイサービスの送迎車）
- ・こころんカフェ（毎週水曜日、福祉センターでの行事）の営業

#### 販売活動

自主製品クッキーの販売を利用者、保護者、職員で行いました。

- ・公民館まつりに出店（14 か所）
- ・可児市役所への出張販売（毎月第 3 火曜日）
- ・アピタ美濃加茂店で出張販売（毎月第 1 土曜日）
- ・ほっとサロンゆい（広見公民館内）の運営に参加し、クッキーを販売
- ・可茂特別支援学校で出張販売（毎月第 1 木曜日）
- ・健康フェアなど地域でのイベントに出店

## 行事

- ・ふれあいまつり（9月）
- ・余暇活動（8月）
- ・岐阜県障がい者スポーツ大会への参加（10月）
- ・交流会（利用者・保護者・職員）（11月）
- ・クリスマス会（12月）
- ・ふれあい運動会（2月）

## 健康管理

- ・健康管理 毎月1日に体重、血圧測定を実施
- ・健康診断の実施（6月）
- ・嘱託医による内科健診の実施（2月）

## 2 ふれあいの里可児生活介護

---

障がいに応じた日常生活や社会生活が送ることができるよう食事や入浴、排泄等の介護、軽作業等の作業活動や創作的活動の機会を提供しました。

### 2-1 支援班（財源：指定管理料収入等 24,752,480 円）

常時介護を要する方に日常生活上の支援を行いました。

#### 利用状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
利用者数	14 人	13 人	13 人
延べ利用者数	1,761 人	1,547 人	1,274 人

平成 27 年度特殊浴槽による入浴サービスの実施 473 人（希望者 7 名 週 1～3 回利用）

## 活動内容

- ・音楽療法（毎週月曜日） 13：20～14：20  
音楽療法士 1 名、利用者全員による集団セッション
- ・理学療法（月 2 回、火曜日） 理学療法士 1 名、利用者 7 人/日、15～20 分/1 人
- ・個別支援（散歩、ストレッチ、音楽演奏・鑑賞）
- ・レクリエーション（ドライブ等の外出、おやつ作り、工作など）

## 2-2 作業班（財源：障害福祉サービス費等 13,856,235 円）

レクリエーションを取り入れながら、作業活動をしました。

利用状況

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
利用者数	8 人	9 人	9 人
延べ利用者数	1,656 人	1,782 人	1,704 人

### 作業活動

利用者の能力及び適正に応じた作業の場を提供しました。

- ・自動車部品の組立、CD・DVD の解体分別、牛乳パック・アルミ缶の回収
- ・油の吸収材「すいとりくん」、小物類の製作
- ・サロン活動でのクッキー販売、クッキー委託販売先へ納品と回収
- ・音楽療法（毎週金曜日）、レクリエーション、おやつ作り（月 1 回）
- ・外出活動（月 1 回）

出勤日数、作業活動参加時間にあわせて工賃を支給しました。（月額 240 円～3,300 円）

### 販売活動

油の吸収材「すいとりくん」・手造り小物類の販売を利用者・保護者・職員で行いました。

- ・公民館まつりに出店（14 か所）
- ・ほっとサロンゆい（広見公民館内）の運営に参加し、クッキーを販売

## 2-3 行事

- ・ふれあいまつり（9 月）
- ・余暇活動（8 月）
- ・岐阜県障がい者スポーツ大会への参加（10 月）（作業班）
- ・交流会（利用者・保護者・職員）（11 月）
- ・クリスマス会（12 月）
- ・ふれあい運動会（2 月）

## 2-4 健康管理

- ・健康管理 毎月 1 日に体重、血圧測定を実施
- ・健康診断の実施（6 月）
- ・嘱託医による内科健診の実施（2 月）

## ➤ その他事業

### 1 岐阜県共同募金会可児市支会の運営

10月1日から12月31日までの間、市民の皆さんの地域福祉活動を支援するための「赤い羽根共同募金」と、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らしていただけるように応援する「歳末たすけあい募金」を、1世帯あたり600円を目安として協力をお願いするとともに、市内の商業施設など3か所において街頭募金を実施しました。

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
募金実績額	16,853,436円	16,627,750円	16,693,952円

※実績額は岐阜県共同募金会への報告額です。(H27.2.1～H28.1.31)

### 2 日本赤十字社岐阜県支部可児市地区の運営

岐阜県支部可児市地区として、赤十字の理念のもと、社資・義援金の募集、被災者支援、献血推進活動、救急法講習等を行いました。

また、可児市赤十字奉仕団事務局を運営しました。

#### (1) 社員・社資

区分	平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	社員数	社資実績額	社員数	社資実績額	社員数	社資実績額
一般・特別社員	21,988世帯	11,042,550円	22,227世帯	11,134,000円	22,019世帯	11,049,500円
法人社員	96法人	1,005,000円	96法人	1,037,000円	90法人	892,000円
合計		12,047,550円		12,171,000円		11,941,500円

#### (2) 義援金・救援金

被災者支援のために、日本赤十字社を通じ義援金・救援金を募りました。

義援金・救援金額：711,635円